

表 1-1 講習科目および時間数				時間数 (h)	
		科目名	内容	集合	課題学習
基礎水泳指導員	学科	水泳指導者・初心者指導法	水泳指導員の役割 (指導員制度含む)	1	
			指導者とは (体罰、ドーピング、薬物含む)		
			初心者指導法		
		水泳プールにおける安全	水泳の安全 (水泳プール事故: 飛び込み、溺水、吸い込み他)	2	
		水泳の科学	水泳・水中運動の特性	1.5	
			バイオメカニクス	1.5	
	水泳の歴史	水泳の歴史	1	1	
	実技	基礎技術	4 泳法	2	5
			スタート・ターン	1	1
		指導実習	個人指導 (技術観察、技術指導、メニュー立案)	1	1
			集団指導 (指導人数、安全確保、集団に対する技術指導、メニュー立案)	2	
			指導法実習	2	
	合計: 6 科目	(学科: 4 科目、実技: 2 科目)	16	8	

表 1-2 検定試験内容および時間数				時間数 (h)	
		科目名	内容	集合	レポート
基礎水泳指導員	学科	水泳指導者・初心者指導法 (体罰、ドーピング、薬物を含む)	水泳指導員の役割 (指導員制度含む)	3 科目 合計 1.5	
			指導者とは (体罰、ドーピング、薬物)		
			初心者指導法		
		水泳プールにおける安全	水泳の安全 (水泳プール事故: 飛び込み、溺水、吸い込み他)		
		水泳の科学	水泳・水中運動の特性		
			バイオメカニクス		
	実技	100mIM		○	
	レポート	水泳の歴史			○
		指導実習	個人指導		
	集団指導				

**表 1-3 実技検定試験の基準**

種目	距離	内容	制限タイム	
			男子	女子
個人メドレー	100m	1. 制限以内で泳ぐこと。 2. 競泳競技規則に違反しないこと。	1分40秒00	1分50秒00

※36歳以上の場合、1歳につき1秒加算する。

※身体に障害のある受験者に対しての判定に当たっては、その障害が不利にならないように配慮する。

**表 3 検定試験の合格基準**

学科の各科目は100点法で評価し、60点以上を合格とする。

学科・実技の全ての科目で合格基準を満たすこと。